

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フォーバル
 コード番号 8275 URL <http://www.forval.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 将典
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 加藤 康二

TEL 03-3498-1541

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	17,907	4.7	561	15.7	565	7.6	489	124.5
25年3月期第2四半期	17,102	3.2	485	63.8	525	72.1	217	△7.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 303百万円 (△18.7%) 25年3月期第2四半期 373百万円 (11.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	36.88	—
25年3月期第2四半期	16.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	14,570	6,300	40.0	439.73
25年3月期	16,674	6,259	34.7	436.41

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,832百万円 25年3月期 5,788百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	17.50	17.50
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	17.50	17.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	2.3	1,370	17.6	1,400	15.1	940	20.5	70.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	13,866,311 株	25年3月期	13,866,311 株
26年3月期2Q	603,186 株	25年3月期	603,147 株
26年3月期2Q	13,263,136 株	25年3月期2Q	13,563,164 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要が見込まれる一方で、債務問題の長期化による欧州景気の低迷に加え、これまで好調であった中国を始めとする新興国の成長が鈍化するなど不透明な状況が続いていましたが、米国では雇用環境や住宅市場に改善の兆しが見られ始めたほか、我が国経済も政権交代を機に大胆な追加金融緩和策の採用により極端な円高の修正と株高が進行し消費者マインドの改善の兆しが見られる等、デフレ脱却・景気回復への期待が高まっています。

また、当社グループの事業領域である情報通信分野においては、顧客のIT投資に対するスタンスは依然として慎重な一方で、スマートフォンやタブレット端末関連、コンテンツサービスやクラウドサービス関連など、順調に拡大している分野も見られました。

このような経営環境下、当社グループは「情報通信コンサルタント」として情報通信コンサルティング市場の確立を目指し、ITコンサルティングサービス「アイコン」を通して、その中でも特に、情報通信の知識・技術を駆使した経営コンサルティングサービスと独自の海外進出ノウハウによる経営コンサルティングサービスに注力することで差別化を図り、顧客企業の経営を支援しながら関係強化に取り組んでおります。

このような環境のもと当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は以下のようになりました。

売上高は前年同期に比べ804百万円増加し、17,907百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

利益面では「アイコン」等が順調に拡大し利益率が改善したことで売上総利益が前年同期に比べ254百万円増加（前年同期比5.1%増）した一方で、販売費及び一般管理費は事業拡大に伴う人員増による人件費の増加等があったものの、その他の経費の抑制に努めたことにより前年同期に比べ177百万円の増加（前年同期比3.9%増）にとどまったことで、営業利益は561百万円（前年同期比15.7%増）、経常利益は565百万円（前年同期比7.6%増）となりました。なお、四半期純利益は投資有価証券売却益を164百万円計上したこと等により489百万円（前年同期比124.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<フオーバルビジネスグループ>

ビジネスフォンや顧客の売上拡大を目的としたホームページ制作等が順調に推移したほか、ビジネスフォンやパソコンの施工保守ならびに光ファイバーやLAN工事等を手掛ける子会社の外部向け売上が拡大したことにより、売上高は7,742百万円（前年同期比3.8%増）、事業拡大等に伴う人員増による人件費の増加等の影響でセグメント利益は255百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

<フオーバルテレコムビジネスグループ>

保険関連の子会社ならびに商業印刷物の企画等を手掛ける子会社が順調に推移したことにより、売上高は5,599百万円（前年同期比3.2%増）、セグメント利益は237百万円（前年同期比28.9%増）となりました。

<モバイルショップビジネスグループ>

携帯の新規販売台数が前年同期に比べ増加したことで売上高は4,394百万円（前年同期比8.6%増）、セグメント利益は80百万円（前年同期比11.8%増）となりました。

<その他事業グループ>

人材関連サービスが順調に推移したものの、それ以外の事業を整理したことで、売上高は170百万円（前年同期比0.1%減）、人材関連サービスの寄与によりセグメント利益は18百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,104百万円減少し14,570百万円となりました。

流動資産は9,982百万円となり、前連結会計年度末比1,711百万円の減少となりました。これは主として現金及び預金の減少379百万円、受取手形及び売掛金の減少1,126百万円によるものです。

固定資産は4,587百万円となり、前連結会計年度末比392百万円の減少となりました。これは主としてのれん等の償却により無形固定資産が49百万円、投資有価証券の時価下落や売却に伴い投資その他の資産が323百万円減少したことによるものです。

流動負債は6,221百万円となり、前連結会計年度末比2,113百万円の減少となりました。これは主として支払手形及び買掛金の減少850百万円、未払法人税等の減少389百万円、社債の償還300百万円、未払金の減少192百万円、短期借入金の減少171百万円によるものです。

固定負債は2,048百万円となり、前連結会計年度末比32百万円の減少となりました。これは主として、退職給付引当金の増加42百万円に対し、長期借入金の減少47百万円、長期リース債務の減少20百万円によるものです。

純資産は6,300百万円となり、前連結会計年度末比41百万円の増加となりました。これは主として第2四半期純利益489百万円に対し、配当による減少232百万円、保有有価証券の時価の下落等によるその他有価証券評価差額金の減少209百万円等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は3,812百万円となり、前連結会計年度末に比べ439百万円の減少となっております。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は149百万円(前年同期比78.0%減)となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が670百万円、売上債権の減少による資金の増加が1,125百万円あったのに対し、仕入債務の減少による資金の減少が835百万円、未払金の減少による資金の減少が252百万円、法人税等の支払額が490百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は218百万円(前年同期は121百万円の支出)となりました。これは主として投資有価証券の売却による収入が310百万円、保険積立金の解約による収入が107百万円あったのに対し、有形固定資産の取得による支出が76百万円、定期預金の預入による支出が60百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は803百万円(前年同期比20.6%増)となりました。これは主として配当金の支払額が230百万円、社債の償還による支出が300百万円、短期借入金の純減少額が123百万円、長期借入金の返済による支出が151百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績は特別利益の発生等により平成25年7月9日に業績予想の修正を公表しており、現在の業績は順調に推移しております。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,268,710	3,889,663
受取手形及び売掛金	4,968,889	3,842,488
商品及び製品	682,665	568,139
仕掛品	82,556	48,074
原材料及び貯蔵品	8,162	7,983
その他	1,793,550	1,674,200
貸倒引当金	△110,083	△47,683
流動資産合計	11,694,450	9,982,864
固定資産		
有形固定資産	1,072,186	1,052,386
無形固定資産		
のれん	459,377	411,947
その他	208,717	206,466
無形固定資産合計	668,095	618,413
投資その他の資産		
投資有価証券	2,267,264	1,789,084
その他	1,356,014	1,567,754
貸倒引当金	△383,598	△440,276
投資その他の資産合計	3,239,679	2,916,562
固定資産合計	4,979,961	4,587,361
繰延資産	515	—
資産合計	16,674,927	14,570,226
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,280,444	3,429,546
短期借入金	327,821	156,524
未払金	1,463,761	1,271,504
未払法人税等	501,902	112,747
賞与引当金	362,536	301,684
役員賞与引当金	81,000	51,250
その他	1,317,731	897,971
流動負債合計	8,335,198	6,221,229
固定負債		
長期借入金	250,787	203,143
退職給付引当金	1,658,647	1,700,996
その他	171,254	144,075
固定負債合計	2,080,689	2,048,214
負債合計	10,415,888	8,269,444

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,488,479
利益剰余金	△1,569,210	△1,312,160
自己株式	△250,231	△250,251
株主資本合計	4,819,332	5,076,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	966,520	757,155
為替換算調整勘定	2,286	△1,329
その他の包括利益累計額合計	968,806	755,826
新株予約権	5,283	7,499
少数株主持分	465,617	461,093
純資産合計	6,259,039	6,300,782
負債純資産合計	16,674,927	14,570,226

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	17,102,454	17,907,088
売上原価	12,079,268	12,629,836
売上総利益	5,023,185	5,277,252
販売費及び一般管理費	4,537,865	4,715,847
営業利益	485,320	561,404
営業外収益		
受取利息	2,270	2,809
受取配当金	26,362	31,181
持分法による投資利益	1,765	—
貸倒引当金戻入額	17,643	10,969
その他	20,771	27,512
営業外収益合計	68,812	72,473
営業外費用		
支払利息	11,955	9,139
持分法による投資損失	—	20,919
貸倒引当金繰入額	—	24,650
その他	16,250	13,516
営業外費用合計	28,205	68,225
経常利益	525,927	565,652
特別利益		
投資有価証券売却益	1,420	164,385
資産除去債務消滅益	3,109	—
その他	200	500
特別利益合計	4,729	164,885
特別損失		
投資有価証券評価損	1,942	22,627
減損損失	566	36,833
訴訟関連損失	60,000	—
その他	18,853	682
特別損失合計	81,361	60,143
税金等調整前四半期純利益	449,295	670,394
法人税、住民税及び事業税	183,647	102,863
法人税等調整額	24,030	51,117
法人税等合計	207,678	153,980
少数株主損益調整前四半期純利益	241,616	516,413
少数株主利益	23,747	27,257
四半期純利益	217,869	489,155

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	241,616	516,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134,219	△209,364
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,437	△3,615
その他の包括利益合計	131,781	△212,979
四半期包括利益	373,398	303,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	349,582	276,175
少数株主に係る四半期包括利益	23,816	27,257

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	449,295	670,394
減価償却費	126,473	127,232
のれん償却額	82,876	67,430
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13,666	△3,071
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,837	△31,227
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△31,250	△29,750
退職給付引当金の増減額(△は減少)	38,551	42,349
受取利息及び受取配当金	△28,632	△33,991
支払利息	11,955	9,139
持分法による投資損益(△は益)	△1,765	20,919
投資有価証券売却損益(△は益)	△935	△164,385
投資有価証券評価損益(△は益)	1,942	22,627
減損損失	566	36,833
売上債権の増減額(△は増加)	1,238,919	1,125,743
たな卸資産の増減額(△は増加)	△52,977	150,413
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,064,911	△835,557
未払金の増減額(△は減少)	△136,461	△252,422
その他	145,471	△306,709
小計	744,613	615,968
利息及び配当金の受取額	28,792	34,042
利息の支払額	△11,699	△9,563
法人税等の支払額	△82,665	△490,984
営業活動によるキャッシュ・フロー	679,040	149,463
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△60,200
有形固定資産の取得による支出	△92,262	△76,399
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△43,669	△51,210
投資有価証券の取得による支出	△23,787	△51,795
投資有価証券の売却による収入	5,453	310,188
保険積立金の解約による収入	—	107,681
貸付けによる支出	—	△51,680
貸付金の回収による収入	16,823	17,879
差入保証金の差入による支出	△74,701	△10,095
差入保証金の回収による収入	29,216	77,450
事業譲渡による収入	50,000	—
その他	11,486	6,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121,441	218,742

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△71,950	△123,335
長期借入れによる収入	—	56,000
長期借入金の返済による支出	△142,137	△151,606
社債の償還による支出	△200,000	△300,000
配当金の支払額	△201,678	△230,311
少数株主への配当金の支払額	△32,868	△33,123
その他	△17,887	△21,299
財務活動によるキャッシュ・フロー	△666,520	△803,676
現金及び現金同等物に係る換算差額	△326	△3,777
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△109,248	△439,247
現金及び現金同等物の期首残高	4,179,048	4,251,710
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,293	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,072,093	3,812,463

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	フオーバル ビジネス グループ	フオーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,458,899	5,425,635	4,047,077	16,931,612	170,841	17,102,454
セグメント間の内部売上 高又は振替高	336,902	477,732	18,040	832,674	10,530	843,205
計	7,795,802	5,903,367	4,065,117	17,764,287	181,371	17,945,659
セグメント利益	265,479	183,964	71,543	520,987	17,920	538,908

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	520,987
「その他」の区分の利益	17,920
セグメント間取引消去	△3,047
のれん償却額	△50,540
四半期連結損益計算書の営業利益	485,320

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,742,531	5,599,039	4,394,845	17,736,416	170,672	17,907,088
セグメント間の内部売上 高又は振替高	251,408	416,830	8,040	676,278	—	676,278
計	7,993,939	6,015,870	4,402,885	18,412,695	170,672	18,583,367
セグメント利益	255,626	237,212	80,017	572,856	18,457	591,313

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	572,856
「その他」の区分の利益	18,457
セグメント間取引消去	18,518
のれん償却額	△48,426
四半期連結損益計算書の営業利益	561,404

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産にかかる重要な減損損失)

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、事業用資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては13,177千円であります。

「フォーバルテレコムビジネスグループ」セグメントにおいて、ソフトウェア及び遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては23,655千円であります。